

平成21年度第8回庁議 会議録

[日 時] 平成21年11月2日(月) 午前8時30分～午前9時

[場 所] 本庁応接会議室

[出席者] 市長、副市長、教育長及び各部局長

※市民部は総括次長代理出席

[会次第]

1 市長あいさつ

2 議 題

(1) 新市建設計画の別子山地区事業の進捗状況について (関係部局)

3 連絡事項

1 市長あいさつ

おはようございます。11月に入り、朝晩寒くなりました。インフルエンザの流行は、学校、子供を中心に広がっており、教育委員会で対応していますが、一人一人は、庁内でのいろいろな連絡事項に基づき予防を行い、インフルエンザにかかった時は拡大しないようお願いをしたいと思います。

現在予算編成の時期ということで、どの部局も智恵を出して創意工夫をした予算編成作業をしていただいていると思います。先の庁議で説明しましたように平成22年度当初予算においては、財政調整基金や減債基金における調整を行わない場合には、9億6千万円の財源不足が見込まれています。ただ、国の予算編成も概算要求はされているようですが、まだ詳細についてはわかりませんし、いわゆる補助金とか交付金等の率が変わることでも市の負担も変わってくるようなことも起こりうると思います。今は、10か年実施計画、長期総合計画、懸案事項等我々にとって必要な事業を予算編成していき、改めて全体の中で優先順位を見直していくこともあろうかと思いますがよろしくお願いします。

2 議事

(1) 新市建設計画の別子山地区事業の進捗状況について (関係部局)

市長 それでは、議事に入る。本日は、新市建設計画の別子山地区事業の進捗状況についてである。新市建設計画は、昨年からは後期計画がスタートしているが、本日は、特に別子山地区事業に限定して現在の進捗状況を説明していただきたいと考えている。全ての事業になると時間も要するので、6事業に絞って説明をお願いします。では、総務部からお願いします。

<別添資料、新市建設計画(別子山地区)進捗状況整理表に沿って説明>

<総務部長>

総務部からは、防災行政無線整備事業の進捗状況について説明する。本事業は、別子山地区の固定系防災行政無線が、整備から20年以上が経過し、老朽化していること、旧新居浜地区においても固定系の防災行政無線を整備する必要があることから、別子山地区の設備の更新に合わせて、親局を旧新居浜地区側に置くこと、デジタル方式60メガヘルツ同報無線とすること、J-アラート、Wi-MAXとの連結をすることとし、全市を一つのシステムで整備する計画である。

今年度実施中の電波伝搬調査の結果を踏まえ、別子山地区については、放送設備、中継局設備のほか、現在の機能を継続して提供できるよう屋外拡声子局7局、戸別受信機130個を全戸に、それぞれ更新整備する。

旧新居浜地区については、公民館等の避難所に、双方向の通信が可能な屋外拡声子局を、不感地帯となります阿島地区、立川地区に電波が届くように再送信子局等、計27か所の整備を計画している。また、水防計画上の水位観測位置に、監視カメラを5台設置する予定である。

現在、実施設計、電波調査を実施中であり、平成22年度に、設備工事に着手し、年度内での完成を予定している。

なお、事業費については、2億9,635万1千円を見込んでいるが、仕様、設計の内容や旧新居浜地区の整備計画によっては変更となることもある。

市長 別子山地区はいつ完成するのか。

総務部長 22年度である。旧新居浜地区も22年度である。全て22年度の1か年で行なう。

<環境部長>

環境部からは、別子・翠波はな街道トイレ整備事業のうち、22年度事業としてダイヤモンド水のトイレについて2千万円の事業計画となっている。現在、コンサルタント会社に調査依頼する等建設部とダイヤモンド水のトイレを考える会を作り、利用者が安心して利用でき、環境汚染のない清潔なトイレの設置をめざして協議を進めている。

位置的には、旧別子登山口、標高約820mからダイヤモンド水広場、標高約1,020mまで約1,600m、道路幅員1.5m程度の登山道で徒歩約1時間弱のところにある。

山岳トイレについては、設置場所の地理的、気象条件、利用条件によりトラブルも多いようである。運搬の問題、電気の問題、施設の規模の問題などあるが、最大の問題は汚泥の廃棄物最終処分となってくる。

最終的な方式としては、バイオ処理方式、土壌処理方式もしくは生物・化学処理循環常流式のいずれかを選択することとなるが、ランニングコストはかかるが、後々のことを考えると土壌処理方式が今のところ最も好ましいのではないかと考えている。

建設予定金額としては約6千万円、管理費として毎年500万円程度かかると考えている。

市長 今年、どういう方法があるのか調査しているのか。

環境部長 建設部と打ち合わせをしたり、コンサルタント会社にも依頼している。

市長 土壌処理方式は埋めるということか。

環境部長 排水をしないということである。
建設部長 日浦のトイレが土壌処理方式である。
副市長 管理には毎年500万円程度かかるのか。
環境部長 機種が決まらなると管理の方法がわからないので、概算で計上しているが、月に数回は管理をすることを想定している。

<経済部長>

経済部からは、地球温暖化防止森林環境保全整備事業、別子山飲料水供給施設整備事業、筏津山荘改築事業の3件について報告する。

地球温暖化防止森林環境保全整備事業については、別子山の山林について国の補助事業を受け除間伐、林内作業道の開設をする事業と中学生の森林学習を行っている。基本的には、今後の見通しは、5年間で約500ヘクタール、年間100ヘクタールの施行面積を予定していたが、平成20年度で54.58ヘクタール、平成21年度で44ヘクタールと年間100ヘクタールの施行面積は困難である。ただし、体験学習については、昨年は、角野中学校の生徒を対象に研修を行った。平成21年度については、今後、日程等を調整していき、中学生、今後は小学生も含めまして、森林学習、体験学習を実施したいと考えている。課題としては、作業路網の整備は今後も必要であるが、なかなか進んでいない状況である。

続いて、別子山飲料水供給施設整備事業である。現在も企画財政会議を開催し、最終的な結論を見出そうとしているが、今のところ7給水区で総事業費5億6千万円程度である。5月から8月にかけて地元説明会を49回行い、参加者については、概ね全員に意見を聞いている。11月から最終決定をする地元説明会の開催を11月4日から4日間開催し、地元合意をしたいと考えている。

最後に、筏津山荘改築事業については、本年度も予算等については未計上で財政計画に入っていたが、平成19年1月の議会会派説明で指摘があった悠楽技の経営改善が改築より急務であるという意見がある中で、改築プランについて別子山地域審議会と協議を行ってきた。最初は、別子山地域審議会も、悠楽技とは関係がない筏津山荘改築事業の要望であったが、現在は、委員の多数が現状の悠楽技に対する改善が先であるということになり、現在見通しとしては、平成21年度着工はできないということで、平成22年度以降において予算化をしていくことを考えている。

市長 森林の所有は。

経済部長 民有林である。7,000ヘクタール程度あるが、1,600ヘクタールが新居浜市で残りが住友林業と個人である。国と県で40%程度補助があり、残りの事業費を新居浜市が負担することになっており、いしづち森林組合が事業主体となって行っている。

市長 国と県の補助については。

経済部長 国が3割、県が1割となっている。ただし、その通りとはなっていない。標準単価があり、歩掛があり、新居浜市は実質の単価に対して国、県の補助金の残りを負担するので残り6割ということではない。

市長 別子山飲料水供給施設整備事業は計画通りか。スケジュール的には。

経済部長 予算もスケジュールも計画通りである。
市長 次年度以降は。
経済部長 来年度、5,000万円の詳細設計と平成23,24,25年度で約5億円の事業費となる。計画戸数は約180戸である。
市長 財源は、特例債か。
経済部長 特例債である。

<消防長>

別子山分団詰所の整備については、当初計画に沿って平成21年度に建設用地の選定を済ませ、22年度に用地の取得、23年度の完成を目指して、現在は建設用地の絞込みを行っている。建設場所については、地元分団の意見や支所との協議を経て現地調査の結果、別子山のほぼ中心に位置する公民館北側（三島側）に、第一候補地と第二候補地を選定した。両候補地とも個人所有地で、それぞれ古い倉庫と空家住居が建っている。この土地が分団詰所としては、場所的にも都合がいいということで、10月初旬に所有者と面談を行い、売却の意志を確認した。詳細については、今後詰めることになるが、所有者にその旨を伝えた。

詰所新築移転後については、現在の4か所の詰所・車庫の内、瀬場と肉淵は撤去し、保土野に統合する。弟地詰所については、支所の移転にも関連するので、その状況に合わせて今後進めていきたい。成の車庫については、防災上残す必要があると考えている。地元4自治会とも協議、説明を行い、了解を得ている。平成23年度中の完成を目指していきたいと考えている。

市長 別子山地区の新市計画について、全体的なことでは説明や確認はないか。
新市計画ではないが、三島ルートのバスはどうなっているか。

経済部長 基本的には、新居浜へ運行しているバスと同じ考え方で行なう。新聞でご存知だと思うが、瀬戸内バスが廃止届を出したので、5月から四国中央市と別子山地区のバス路線が廃止される。12月でバスを購入しないと4、5月実施が難しいので、12月補正を行ないたい。

市長 富郷との分団は毎年契約更新か。

消防長 異議がなければ継続となっている。

市長 それでは、新市計画については、他の新居浜市関連分も含めて多くあるが、よく進捗状況の把握に努めるようお願いする。

あらかじめの議題については以上である。各部局の連絡事項があれば、お願いする。
インフルエンザについて学校はどうか。

教育長 金曜日の段階で15学校、49学級を閉鎖し、約550名が出席停止となっている。インフルエンザA型といわれている。昨日の夜、高津小学校と中萩小学校と大生院小学校から学級閉鎖をしたいと連絡があった。まだ、傾向が強い。教育委員会主催の小中音楽会については中止の方向で進めている。昨日、文化祭が多喜浜校区であったが、小学校は不参加、作品展示のみという形で子供は参加していなかった。まだまだ続く傾向があるので今後も注意していく必要があると考えている。

市長

それでは、他になければ第8回庁議を終わる。